

(様式2)

No. 1

| | | |
|------|-------------|------|
| 公開 | 可 | 否 |
| 公開時期 | 1) 庁議後の記者会見 | 2() |

平成26年10月31日

庁議付議事案書

| |
|-----------------------------|
| 部・室・局・(課)名 |
| 市長公室 つくば市東京事務所 経済部 産業振興課 |
| |

| 付議区分 | 予定 |
|------|---|
| 付議事項 | 企業誘致フェアinアキバの開催について |
| 事案要旨 | <p>1 目的 首都圏の企業に対して、筑波研究学園都市としての知名度や研究所・大学等との連携、都内及び北関東圏との良好なアクセスなど、企業が立地するにあたってつくば市の優位性をアピールし、多くの企業をつくば市へ誘引する。</p> <p>2 日時及び会場 平成26年11月18日 (火) 13:00~17:00 秋葉原ダイビル5階 カンファレンスフロア5B</p> <p>3 内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用地PR (独)都市再生機構, 茨城県, (一財)日本自動車研究所, 市内撤退企業 ・産学連携PR (独)産業技術総合研究所, 筑波大学, (独)物質・材料研究機構 ・つくば総合PR 市街化調整区域内の立地相談, 「つくば、ホンモノ!」PR ロボット特区及び国際戦略総合特区等の紹介 ・セミナー 講師 つくば市理事 森 和男 「つくばだからできる!夢をかたちに」 ・特別企画 モビリティロボット試乗会 <p>4 実施機関</p> <ul style="list-style-type: none"> 主催 つくば市 後援 (独)都市再生機構, 茨城県 協力 (独)産業技術総合研究所, 筑波大学, (一財)日本自動車研究所 (独)物質・材料研究機構, 日刊工業新聞社 <p>5 周知方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダイレクトメールによる郵送対応 約1,000通 ・支援機関, 大手ディベロッパーへ周知依頼 17か所 3,500枚チラシ配布 ・UR, 日本立地センター, 日刊工業新聞社のメールマガジン配信 約90,000件 |
| | |
| | |
| | |

(様式2)

No. 2

| | | |
|------|-----------|------|
| 公開 | 可 | 否 |
| 公開時期 | 1庁議後の記者会見 | 2() |

平成26年10月31日

庁議付議事案書

部・室・局・(課)名

市長公室 つくば市東京事務所

| 付議区分 | 予定 |
|------|--|
| 付議事項 | 荒川区交流都市フェアin日暮里～つくば市がやってくる～の開催について |
| 事案要旨 | <p>1 目的 つくば市の友好交流都市である荒川区の日暮里において、つくば市PRキャンペーンを行う。つくばの物産販売を中心に、伝統芸能や市内大学生によるダンスなどステージ発表、さらに来場者に観光PR等を行い、さらなる認知度向上とイメージアップを図り、観光誘客及び定住促進につなげる。</p> <p>2 日時及び会場 平成26年11月9日(日) 10:00～16:00 日暮里駅前イベント広場</p> <p>3 内容 ・物産販売(銘菓・銘酒・加工品等特産品・農産物)10ブース程度 ・ステージ発表(筑波大学斬桐舞, ガマ口上保存会, Dr. ナダレンジャー等) ・セグウェイの試乗体験 ・マスコットキャラクター(フックン船長・ツクツク)によるPR</p> <p>4 実施機関 主催 荒川区 協力 つくば市, 荒川区芸術文化振興財団(ACC), 日暮里まちづくり実行委員会</p> <p>5 周知方法 チラシ配布5,000部, メトロガイドによる広告掲載100万部</p> |
| | |
| | |
| | |

| | |
|------|------------------|
| 公 開 | 可 ・ 否 |
| 公開時期 | 1) 庁議後の記者会見 2() |

平成26年10月31日

庁 議 付 議 事 案 書

部・室・局・(課)名

国際戦略総合特区推進部

科学技術振興課

| | |
|------|--|
| 付議区分 | 予 定 |
| 付議事項 | 「つくばチャレンジ 2014」本走行の開催について |
| 事案要旨 | <p>1 趣旨</p> <p>「つくばチャレンジ」は、市内の遊歩道等の実環境の中で、移動ロボットに自律走行させる技術チャレンジであり、環境との親和性を保ちながら、人間とロボットが共存する社会の実現のための先端的技術への挑戦である。</p> <p>2007年から2012年までは、つくばチャレンジ第1ステージとして、約1キロのコースを自律走行させることを課題としてきた。2013年から始まったつくばチャレンジ第2ステージでは、実社会においてしっかりと働くロボットを目指し、より複雑な課題として「移動ロボットが市内の遊歩道や広場等の指定された区間を自律的に走行して、複数の探索エリアで、決められた服装の人間を見つけてくること」にチャレンジしている。</p> <p>2 日時及び場所</p> <p>本走行 平成26年11月16日(日)</p> <p>11時00分 開会式(大清水公園)</p> <p>11時30分～15時30分 本走行(大清水公園, つくばセンター広場及びそれらを結ぶ遊歩道)</p> <p>16時00分 記録発表(大清水公園)</p> <p>17時00分 交流会(つくば国際会議場)</p> <p>実験走行 平成26年11月3日(月), 10日(月), 14日(金), 15日(土) (7月から実験走行を開始, 場所は本走行と同じ)</p> <p>3 参加チーム</p> <p>48チーム 54台(添付チラシを参照)</p> <p>4 主催 つくばチャレンジ実行委員会, つくば市</p> <p>5 共催 科学技術振興機構, 筑波大学, 日本ロボット学会, 日本機械学会, 計測自動制御学会, つくば科学万博記念財団</p> <p>6 協力 ニューテクノロジー振興財団</p> |
| | |
| | |
| | |

(様式2)

No. 4

| | |
|------|----------------|
| 公開 | 可 ・ 否 |
| 公開時期 | ①庁議後の記者会見 2() |

平成26年10月31日

庁議付議事案書

| |
|-------------|
| 部・室・局・(課)名 |
| 市民部 男女共同参画室 |
| |

| 付議区分 | 予定 |
|------|--|
| 付議事項 | 平成26年度つくば男女共同参画会議「つくば男・女(みんな)のつどい2014」の開催について |
| 事案要旨 | <p>1 目的 本市における男女共同参画社会づくりに向けた意識啓発と参加者相互の情報交流を目的として開催する。今年度は『みんなの子育てでひらく「つくば、ホンモノ!」の未来』をテーマとする。</p> <p>2 日時 平成26年12月6日(土) 10:00~12:00(開場9:30)</p> <p>3 場所 つくばカピオ</p> <p>4 定員 先着350名(要事前申込) ※赤ちゃん連れの参加可</p> <p>5 内容</p> <p>(1)オープニング「手代木南小学校合唱団」による同声三部合唱</p> <p>(2)第9回つくば市男女共同参画推進標語「愛ことば」展示・表彰式 愛ことばには、3部門605作品(一般の部348作品、学生の部220作品、親子の部37作品)の応募があった。当日は、優秀作品の展示及び上位6作品の表彰を行う。</p> <p>(3)講演「セイン流 頑張りすぎない子育て日記」 講師:セイン カミュ氏(タレント・俳優)</p> <p>(4)男女共同参画推進団体によるパネル展示・活動状況紹介を実施。 「展示で探そう!クイズラリー」としてクイズラリー参加者先着50名に参加賞を進呈する。</p> <p>(5)こどもイベント(要事前申込) なわとび広場:黒野寛馬先生 「ワールド・ジャンプ・ロープ大会」個人総合優勝 おもしろ理科実験:久保利加子先生</p> |
| | |
| | |
| | |

(様式2)

No. 5

| | |
|------|-----------------------------|
| 公開 | <input type="radio"/> 可 ・ 否 |
| 公開時期 | 1庁議後の記者会見 2() |

平成26年10月31日

庁 議 付 議 事 案 書

| |
|------------|
| 部・室・局・(課)名 |
| 市民部 国際・文化課 |
| |

| | |
|------|---|
| 付議区分 | 予 定 |
| 付議事項 | つくばワールドフットサル2014の開催について |
| 事案要旨 | <p>1 趣旨 誰もが参加しやすいイベントとしてフットサル大会を開催することで、外国人住民の地域社会参画を促すとともに、国籍や文化を問わない多文化共生への意識を啓発し、さらには外国人を支援する関係機関や企業とのネットワークを構築することを目的とする。</p> <p>2 日時 平成26年11月30日(日) 9時～16時(雨天決行・荒天中止)</p> <p>3 場所 セキショウ・チャレンジスタジアム(つくばウェルネスパーク)</p> <p>4 内容 ○フットサル大会 クラス U-12(未就学児を除く) エンジョイ(中学生以上初心者) オープン(中学生以上経験者) 参加費 U-12 300円, エンジョイ・オープン 500円(傷害保険料込) ○イベント ワールドカップ(日本人・外国人混合特別チーム対戦) キックターゲット・キックスピードコンテスト ワールドレストラン(6店舗)</p> <p>5 主催 つくばワールドフットサル実行委員会 [構成] つくば市・ラヂオつくば・筑波研究学園都市交流協議会・(一財)つくば市国際交流協会・NPO法人つくばFC・(株)鹿島アントラーズFC・筑波大学体育系・ワールドフットつくば・筑波学園都市サッカーリーグ</p> <p>6 協賛 大塚製薬(株)・(公財)つくば科学万博記念財団・茨城県自然博物館・関東鉄道(株)・JAつくば市・JAつくば市谷田部・マクドナルド354つくば上横場店・(株)伊藤園/協力 常陽新聞(株)</p> <p>7 実績 2012大会 47チーム283人(うち外国人23カ国95人) 2013大会 50チーム354人(うち外国人30カ国65人)</p> |
| | |
| | |
| | |

| | | |
|------|----------------|---|
| 公開 | 可 | 否 |
| 公開時期 | ①庁議後の記者会見 2() | |

平成26年10月31日

庁議付議事案書

| |
|------------|
| 部・室・局・(課)名 |
| 市民部 国際・文化課 |
| |

| | |
|------|--|
| 付議区分 | 予定 |
| 付議事項 | 平成26年度つくば市民文化祭の開催について |
| 事案要旨 | <p>1 目的 市民の文化芸術活動の成果を発表し、その成果に触れる機会を全市的な規模で提供することを目的として、つくば市民文化祭を開催する。</p> <p>2 開催期間 平成26年11月1日(土)、2日(日)10時~16時 [茎崎会場は11月3日(月)まで期間延長]</p> <p>3 開催会場 筑波会場……筑波交流センター, 市民ホールつくばね 大穂会場…大穂交流センター, 大穂体育館, 吉沼交流センター (特別出演:常陸乃国ふるさと太鼓会) 豊里会場……豊里交流センター, 豊里体育館, 市民ホールとよさと 桜会場……桜総合体育館 (筑波高校生の芸能発表・ボランティアスタッフ) 谷田部会場…谷田部総合体育館, 市民ホールやたべ (特別出演:谷田部中学校吹奏楽部) 茎崎会場……茎崎交流センター, 市民ホールくきざき 中央会場……つくばカピオ, ノバホール, 吾妻交流センター, さくら民家園, その他の会場…豊里ゆかりの森</p> <p>4 催事内容 作品展示…絵画, 書道, 写真, 文芸, 生け花, 盆栽, 工作等 芸能発表…郷土芸能, 民謡, 舞踊, ダンス, 声楽, 器楽, 歌謡等 その他…茶会, 演劇, 囲碁, 将棋, 啓発活動, 試食, 講演会等, 小中学校芸術展, 第37回ノバホール音楽会等 ※参加を希望する会場で, 作品展示や芸能発表等を行う</p> <p>5 主催 つくば市, つくば市教育委員会, つくば市民文化祭実行委員会</p> <p>6 協力 つくば市文化協会</p> <p>7 参加申込者数 358団体 4,194人 (H25年度実績:347団体 4,099人)</p> <p>8 来場予定者数 延べ25,000人 (H25年度実績:延べ22,967人)</p> <p>9 周知方法 案内チラシを市内全戸ポスティングで配布するほか, 市内公共施設・学校等にポスター掲示</p> |
| | |
| | |
| | |

| | |
|------|------------------|
| 公開 | 可 ・ 否 |
| 公開時期 | 1 庁議後の記者会見 2 () |

平成26年10月31日

庁議付議事案書

| |
|-------------|
| 部・室・局・(課)名 |
| 市民部 スポーツ振興課 |
| |

| 付議区分 | 予 定 |
|------|---|
| 付議事項 | 筑波大学とつくば市とのスポーツ連携推進に関する協定について |
| 事案要旨 | <p>1 協定の目的 筑波大学とつくば市の所有する情報、資源、研究成果等を活用し、スポーツに関する取り組みを計画的かつ一体的に推進し、つくばの特徴を活かしたスポーツの推進を図る。</p> <p>2 連携の経緯 筑波大学とつくば市は、スポーツ分野において、これまで幅広い連携を展開してきている。また、平成15年9月30日には包括的な連携協定も締結している。 一方、スポーツ基本法やスポーツ基本計画には、地域のスポーツの推進について、地方公共団体と大学が連携して取り組むことが重要な政策課題として示されている。また、2019年の第74回国民体育大会（茨城国体）・全国障害者スポーツ大会や2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催など、スポーツへの関心がこれまで以上に高まってきている。 これらを踏まえ、筑波大学と市では、つくばの特徴を活かしたスポーツの推進を更に図るため、スポーツに特定した協定を締結することとした。</p> <p>3 協定事項 (1) スポーツの推進及びスポーツ環境の整備・充実に関すること。 (2) スポーツの推進に係る交流及び地域スポーツ文化の創造に関すること。 (3) スポーツの推進に係る調査研究に関すること。 (4) その他スポーツの連携推進に関すること。</p> <p>4 調印式 日 時：平成26年11月14日（金）13時～13時30分 場 所：市庁舎庁議室 出席者：筑波大学 永田恭介学長、中川昭体育系長（予定） つくば市 市原市長、岡田副市長（予定）</p> <p>※ 調印式後、記者会見を予定</p> |
| | |
| | |
| | |

| | | |
|------|------------------|---|
| 公開 | 可 | 否 |
| 公開時期 | 1 庁議後の記者会見 2 () | |

平成26年10月31日

庁議付議事案書

| |
|-------------|
| 部・室・局・(課)名 |
| 市民部 スポーツ振興課 |
| |

| | |
|------|--|
| 付議区分 | 予定 |
| 付議事項 | 第34回つくばマラソンの開催について |
| 事案要旨 | <p>1 日 時 平成26年11月23日(日) 午前8時15分から</p> <p>2 主 会 場 筑波大学陸上競技場</p> <p>3 種 目 マラソン(42.195km)の部 10kmの部(日本陸連公認)</p> <p>4 主 催 つくば市, 筑波大学, 茨城陸上競技協会, 読売新聞社</p> <p>5 医 療 筑波大学スポーツアソシエーション, 筑波メディカルセンター病院 他</p> <p>6 エントリー数 マラソン 13,104人 10km 3,008人 計16,112人</p> <p>7 つくばマラソン祭り2014 日 時: 平成26年11月22日(土) 午後1時00分から 場 所: イーアスつくば センターコート 内 容: ロープスキッピングパフォーマンス, 33回大会コーストリーム ダイジェスト及び写真展示, ラヂオつくばスペシャルライブ ランニングカンファレンス, ゲストランナートークショー (ノッチ他3名予定), 前夜祭(市長あいさつ, ランナーズスペシャル抽選会等)</p> <p>8 その他 (1) 大会当日の開会式 実行委員長による開会宣言, 市長挨拶, 主催者及び協賛社紹介 ダンスアソシエーションシーズによる演出 (2) エコマラソンの推進 湘南国際マラソンとの協力, 分別ステーションの設置, 電気自動車等の活用他 (3) ランナーサービスの向上 ゴール後の提供品(スポーツドリンク, お菓子, チョコ, 紐付き袋) (4) マスメディア関係 コーストリーム(動画配信) 先導車両等にカメラを設置し中継する。 ラヂオつくばとコーストリームがコラボし, 放送する。 ACCS・NHK水戸放送局等予定 (5) ゲストランナー ノッチ(お笑いタレント), 武井 隆次(元エスビー食品陸上部監督) 嶋原 清子・阿波寄 熙子(セントウインドAC所属) 大村 由衣・篠原 菜月・長谷川 千春(チームアールツー)</p> |
| | |
| | |
| | |

| | |
|------|------------------|
| 公 開 | 可 ・ 否 |
| 公開時期 | 1) 庁議後の記者会見 2() |

平成26年10月31日

庁 議 付 議 事 案 書

| |
|---|
| 部・室・局・(課)名 |
| 環境生活部 環境都市推進課 教育委員会事務局 教育指導課 国際戦略総合特区推進部 科学技術振興課 |
| |

| | |
|------|--|
| 付議区分 | 予 定 |
| 付議事項 | 「つくばサイエンスコラボ2014 ～科学と環境のフェスティバル～」の開催について |
| 事案要旨 | <p>1 事業概要 同時開催する次の3つのイベントを「つくばサイエンスコラボ2014～科学と環境のフェスティバル」として開催する。</p> <p>(1) 「つくば科学フェスティバル」 (教育指導課) 科学の楽しさや驚きなどを身近に感じてもらえる体験型のイベント ※ つくば科学出前レクチャー事業の活用による研究機関と学校との連携企画も実施する。</p> <p>(2) 「つくば環境フェスティバル」 (環境都市推進課) 身近な環境問題や地球温暖化防止について、市民団体、企業、大学・研究機関、市が日頃の取組を紹介する。</p> <p>(3) 「つくば3Eフォーラム」 (筑協つくば3Eフォーラム事務局・筑波大学) 温室効果ガス削減や新エネルギーに関する取組を紹介する。</p> <p>2 開催日時 平成26年11月8日(土) , 9日(日) 10:00～16:00 ※8日(土)は, 9:30～10:00にオープニングセレモニー開催 ※9日(日)は, 15:30に閉会</p> <p>3 会 場 つくばカピオ及び大清水公園 (多目的広場)</p> <p>4 来場予定者数 16,000人 (2日間延べ人数)</p> <p>5 その他</p> <p>(1) 第12回つくば市プレゼンテーションコンテスト決勝大会も同時開催 (総合教育研究所) 子どもたちのプレゼンテーション能力の向上を図ることを目的に開催。 市内52の全小中学校から, 1次審査を突破した14校15チームが, カピオホールにて, 電子黒板を活用し, プレゼンテーションを行い技能を競う。 今年度から, 決勝大会を実施, 外国語部門を新設した。 ※ 日時 平成26年11月8日(土) 13:00～16:00</p> <p>(2) つくばセンター地区活性化協議会の協力を得て, 「つくばセンターマルシェ」が出張出店</p> |
| | |
| | |
| | |

| | | | |
|------|-------------|------|---|
| 公 開 | 可 | ・ | 否 |
| 公開時期 | 1) 府議後の記者会見 | 2() | |

平成26年10月31日

庁 議 付 議 事 案 書

| |
|---------------|
| 部・室・局・(課)名 |
| 環境生活部 環境都市推進課 |
| |

| | |
|------|--|
| 付議区分 | 予 定 |
| 付議事項 | 「SMART MOVE～つくば秋のエコ通勤ウィーク～」の開催について |
| 事案要旨 | <p>1 事業概要 自家用車の利用から、電車やバス等の公共交通、自転車や徒歩、自動車の相乗りなどの環境に優しい交通手段に切り替え、「移動」を「エコ」にすることにより二酸化炭素排出量の削減を目指し、「SMART MOVE～つくば秋のエコ通勤ウィーク～」を実施する。</p> <p>2 開催期間 平成26年11月4日(火)～平成26年11月21日(金) 18日間</p> <p>3 対 象 者 市内在住・在学・在勤の方</p> <p>4 周知方法 市ホームページ、広報つくば、フェイスブック、ツイッター、横断幕、及び各窓口センター・各地域交流センターでチラシを配布して周知する。 また、つくば環境スタイルサポーターズに、サポーターズニュース及びメール配信等により広報するとともに、「環境都市の推進に関する協定」の締結機関については、ポスター及びチラシを配付して協力を依頼する。</p> <p>5 提出方法 エコ通勤チラシ兼実施記入シートは、平成26年11月28日(金)までに、E-mail, FAX, 郵送, 又は、環境都市推進課、各窓口センター及び各地域交流センターに直接持参により提出する。</p> <p>6 実施結果 提出された実施記入シートにより、二酸化炭素の排出削減量を算出し、結果を実施者にお知らせする。また、実施者全員の総二酸化炭素排出削減量は、市ホームページ等で公開する。</p> <p>7 その他 エコ通勤ウィークにあわせて、「つくログ」(スマートフォンを用いた交通行動調査)を実施する。(11/15～11/28)</p> |
| | |
| | |
| | |

(様式2)

No. 11

| | |
|------|-------------|
| 公開 | 可 ・ 否 |
| 公開時期 | ① 府議後 2 () |

平成26年10月31日

庁議付議事案書

| |
|------------|
| 部・室・局・(課)名 |
| 経済部 農業課 |
| |

| 付議区分 | 予 定 |
|------|--|
| 付議事項 | 農業分野・福祉分野の連携事業について |
| 事案要旨 | <p>1 概要 障害者の農業分野への活動拡大などの「農業分野と福祉分野の連携」を見据え、本年度初めて、モデル事業として、農業の現場において障害者が農作業を体験する「農作業体験及び交流事業」の実施を行う。 本事業では、実際の現場で農作業体験を受け入れたりあるいは農作業を体験してもらうことにより、普段は接することの少ないお互いの立場への理解や交流を深めながら、今後の両者の連携の糸口を探る。</p> <p>2 日時 平成26年11月12日 (水) 9:30集合 12:00解散予定 ※雨天の場合は平成26年11月13日 (木) に順延</p> <p>3 場所 農作業体験：つくば市上里公民館近くの畑 交流会：上里公民館 (つくば市上里396) 駐車場：つくば市上里公民館駐車場</p> <p>4 内容 有機こんじんの収穫体験と農家と障害者の交流会</p> <p>5 参加者 農作業受入れ協力農家 1軒 農作業体験参加協力福祉事業所 2事業所</p> <p>6 その他 本年度より、障害者の就農や農作業ボランティアの協力など、農業分野及び福祉分野の連携の相談窓口として、農業課内に「障害者就農支援窓口」を設置している。</p> |
| | |
| | |
| | |

| | | | |
|------|------|----|---|
| 公 開 | Ⓚ | ・ | 否 |
| 公開時期 | ①庁議後 | 2(|) |

平成26年10月31日

庁 議 付 議 事 案 書

部・室・局・(課)名

経済部 観光物産課

| | |
|------|---|
| 付議区分 | 予 定 |
| 付議事項 | 「第2回くきざき夢まつり」の開催について |
| 事案要旨 | <p>1 概要</p> <p>これまでは「ひまわりまつり」として開催してきたイベントを昨年度から、より身近なイベントとして感じられるように「くきざき夢まつり」と名称を変えて開催している。</p> <p>2回目となる本年も、荃崎地区内の関係団体が一つとなり、幅広い年齢層が楽しめる、より地域に密着した「まつり」として開催する。</p> <p>2 日時 平成26年11月16日(日) 9:00～15:00 ※荒天の場合は中止</p> <p>3 場所 荃崎運動公園中央広場</p> <p>4 主なイベント内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ステージ：マーチングバンド、フラダンス、バンド演奏等 ・体験広場：ダンボール迷路、フワフワトランポリン、竹馬等 ・消防コーナー：煙体験、消火・救急救命体験、消防音楽隊の演奏等 ・乗車体験コーナー：セグウェイ・マイクロモビリティ、カブトムシロボット「ヘラクレス」、ミニトレインの運行等 ・物販コーナー：商工会及び各種団体によるバザー等、農産物の販売、花の鉢プレゼント(先着順 数量限定) <p>5 主催 くきざき夢まつり実行委員会、つくば市 共催 つくば市商工会 協力 荃崎地区区会連合会、つくば市消防本部、つくば市消防団荃崎支団 つくば中央地区交通安全協会荃崎支部、つくば市食生活改善推進員協議会荃崎支部、つくば市荃崎地区シルバークラブ連合会、荃崎地区小中学校PTA、つくば市ふれあいプラザ</p> <p>6 予定来場者数 10,000人(昨年度来場者数 10,000人)</p> |
| | |
| | |
| | |

| | | | |
|------|---|----------|------|
| 公開 | 可 | ・ | 否 |
| 公開時期 | 1 | 庁議後の記者会見 | 2() |

平成26年10月31日

庁議付議事案書

| |
|-------------|
| 部・室・局・(課)名 |
| 都市建設部 交通政策課 |
| |

| 付議区分 | 予定 |
|------|--|
| 付議事項 | バス×りんりんつくばオデカケキャンペーンの開催について |
| 事案要旨 | <p>1 事業目的 環境負荷の低減及び健康づくりの一環として、環境に優しく健康に役立つバス及び自転車の利用促進を図るバス×りんりんつくばオデカケキャンペーンを開催する。 本キャンペーンをとおして、バス及び自転車の日常的な利用を定着させ、公共交通の利用促進及び環境配慮意識等の醸成を目指していく。</p> <p>2 内容 バスや自転車を利用することで、1回につき1つスタンプを押印することができ、スタンプが集まると景品と交換ができる。また、キャンペーンへの参加を促すために、バスの利用方法及びサイクリングコースを掲載したオデカケマップの配付も行う。 なお、本事業は、平成26年度地域公共交通利用促進活動助成金(茨城県公共交通活性化会議助成：300千円)を活用して実施する。</p> <p>3 期間 平成26年11月1日から平成27年1月31日まで</p> <p>4 オデカケマップの配付及びスタンプ配置施設 市役所他14か所</p> <p>5 協力 関東鉄道株式会社、筑波大学</p> <p>6 今後の展望 事業成果からバス及び自転車の利用促進方策としての効果を検証し、継続的なキャンペーン等の実施を検討する。</p> |
| | |
| | |
| | |

| | | | |
|------|---|----------|------|
| 公開 | 可 | ・ | 否 |
| 公開時期 | 1 | 市議後の記者会見 | 2() |

平成26年10月31日

庁議付議事案書

| |
|--------------------------------------|
| 部・室・局・(課)名 |
| 国際戦略総合特区推進部 科学技術振興課 市民部 国際・文化課 |

| | |
|------|--|
| 付議区分 | 報告 |
| 付議事項 | フランスへ出張報告について |
| 事案要旨 | <p>1 趣旨</p> <p>仏国グルノーブル市で行われる科学技術都市の国際会議（第3回ハイレベルフォーラム）への招待を受けたため、市原市長を団長とし、つくばグローバル・イノベーション推進機構（中村理事長），産業技術総合研究所（中鉢理事長），物質・材料研究機構（潮田理事長），筑波大学（吉川副学長），高エネルギー加速器研究機構（野村理事）の6組織からなる代表団で参加した。</p> <p>また、昨年姉妹都市協定を締結したグルノーブル市を表敬訪問し、都市間の交流を深めるとともに、今後の連携について意見交換した。</p> <p>2 日程</p> <p>平成26年9月29日（月）～10月1日（水）</p> <p>3 成果・その他</p> <p>(1) 第3回ハイレベルフォーラム（9月29日・30日）</p> <p>市原市長が中村理事長とともにつくば市の取組についてプレゼンテーションを行った。2日間の積極的な議論を通じて、イノベーションを育む環境づくりに取り組む関係者間で有意義な情報交換を行った。また、市原市長から、来年のハイレベルフォーラムのつくば開催を宣言した。</p> <p>(2) グルノーブル市による姉妹都市交流行事（9月30日・10月1日）</p> <p>グルノーブル市長とともに市庁舎前の公園にケヤキの木を記念植樹するとともに、市庁舎において小林在リヨン日本領事事務所長同席の下、公式セレモニーに出席し、両市の相互交流を深めていくことを確認した。</p> <p>その他、ナノテク拠点であるミナテックや、ポータブル燃料電池システムを開発する企業等の先進的な取組の視察等を行った。</p> |
| | |
| | |
| | |

| | | |
|------|----------------|---|
| 公開 | 可 | 否 |
| 公開時期 | ①庁議後の記者会見 2() | |

平成26年10月31日

庁議付議事案書

| |
|------------|
| 部・室・局・(課)名 |
| 会計事務局 |

| | |
|------|---|
| 付議区分 | 報告 |
| 付議事項 | 源泉所得税等の自己点検の結果について |
| 事案要旨 | <p>1 内容 土浦税務署長から源泉所得税等の自己点検の依頼に基づき、点検を実施した結果を報告する。</p> <p>2 点検の概要 (1)対象期間 平成22年1月1日から平成26年9月30日 (2)点検内容 ①測量士、建築士等所得税法第204条第1項第2号の報酬・料金に係る所得税及び復興特別所得税等の源泉徴収 ②給与等及び報酬・料金等(上記の①を除く)に係る復興特別所得税の源泉徴収 ③交通用具使用者に係る通勤手当の非課税限度額を超える部分に対する源泉徴収 ※交通用具とは、通勤に使用する自転車・バイク・自家用車等をいう ④各種委員会委員に対する謝金、手当等の報酬に対する給料等としての源泉徴収</p> <p>3 点検結果(平成22年1月～平成26年9月の支払済分) 上記点検①について、源泉所得税の徴収不足の件数及び金額は、215件(個人事業者数は27人)、徴収すべき源泉所得税 29,625,167円が判明した。 また、②から④については該当なし。</p> <p>4 源泉徴収漏れの原因 報酬や謝金と違い、個人事業主の委託料は源泉徴収の対象とはならないと誤認していた。</p> <p>5 今後の対応 納付すべき源泉所得税の額については、今後土浦税務署と協議のうえ、源泉徴収税不足分を土浦税務署に納付する。 不納付加算税及び延滞税については、税務署で額の確定後納付する。 源泉徴収漏れとなった個人事業者の方に対し、謝罪と経過説明をしたうえで、市で納付した源泉所得税額全額の返納をお願いする。</p> <p>6 公表時期 10月31日定例記者会見 つくば市ホームページへの掲載</p> |
| | |
| | |
| | |